

メディアサービス事業者の社会的使命について

ー緊急地震速報配信サービス導入にあたって

ゆれるん



緊急地震速報

来る前に知る



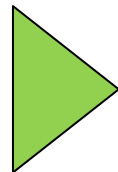
MediaNetworks

メディアネットワークス

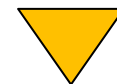
株式会社メディアネットワークス

平成24年9月24日

1. 不特定多数への情報提供

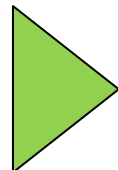


- 社会的弱者の保護

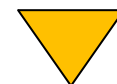


「デジタルリモートの救済」

2. 安全と安心の提供

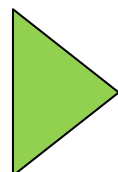


- 正確でタイムリーな情報提供
- 標準化・マニュアル化され、Authorized な情報の配信



「ルール作り」

3. 最大広報効果の実現

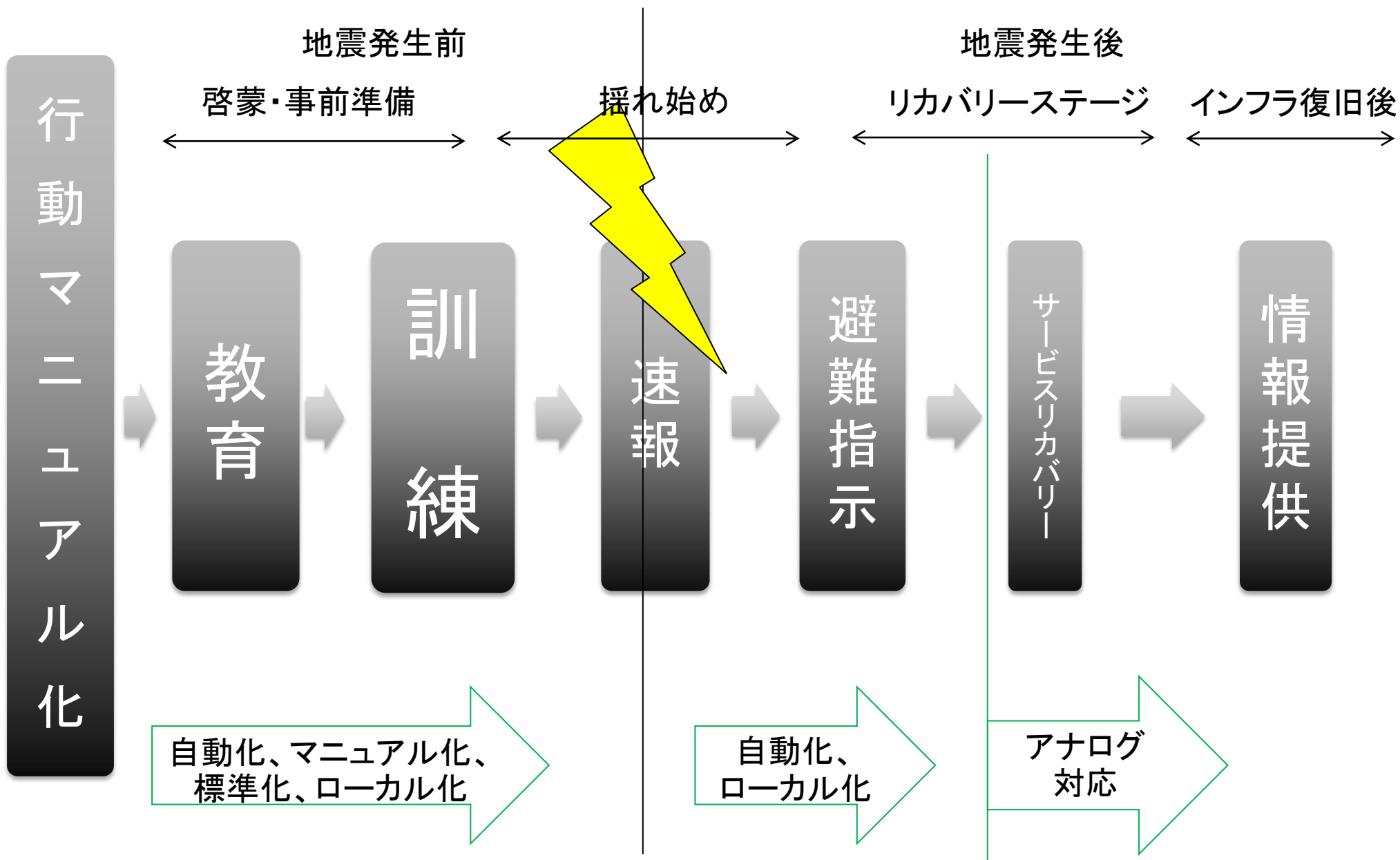


- Attentionの獲得
- 低いコストで最大多数へ告知
- 継続した啓蒙



「行動に影響を与える」

地震対策の分析 - Information Service 事業社の役割 (ステージ別)



ファクト		分析	意味合い
水死	12,143人 (92.5%)	地震発生から津波到達 までは約1分~10分)。 水死のうち一定数は防げ た可能性がある	迅速かつ的確な初期避難行 動(誘導)が重要 <ul style="list-style-type: none"> ➤ コミュニティラジオ ➤ 消防署告知・避難命令 ➤ 携帯告知 ➤ TV割り込み告知 ➤ オフィス放送 ➤ Etc
圧死・損傷死	578人 (4.4%)		
年齢別では60歳以上の死者が全体の65.2%			
		メディア横串での 対応準備が重要	沿岸部の場合、何れのメデ ィアの場合も、迅速に動けるよ うに、事前の告知・啓蒙が重 要であり、各メディア共通のガ イドラインが有る事が望まし い

※)警察庁2011年4月11日集計

ファクト(推定)

分析

意味合い

揺れによる死者 約5,600人
(58%)

直下型であっても
建物倒壊等による
即死は全体の
58%以下

建築耐震性の向上により、
相対的に火災による死亡比
率が高まっている。

火災による死者 約4,100人
(42%)

関東大震災の際
には、約5200人が
焼死したと伝えら
れる

迅速かつ的確な
初期避難行動(誘導)
が重要



火の元の処理、など公共的
行動も求められる



行政と連携した、
事前の告知・啓蒙が重要